

市の助言内容と申出者の意見

市の助言		申出者の意見
<b>1 計画全体のデザインコントロールについて</b>		
1	「彩帯(いろおび)」について、その各建築物への使い方（使用する部分や立面に占める割合など）によっては、各建築物の「彩帯(いろおび)」の印象に強弱が生じてしまうことも考えられます。また、様々な色が使用されることにより、かえって街区全体の統一感を損ねるおそれもあります。これらのことを踏まえ、『彩帯(いろおび)』でまちとしての一体感を創り出す」というコンセプトが達成されるよう、引き続き各建築物のデザインの調整を行ってください。	今後も各設計者で、図面やパース、色見本や材料見本等で確認する等デザイン調整を行い、街区全体のバランスを考慮して、まちとしての一体感を創り出すことをめざします。
2	共同住宅棟について、中高層階の外観に高明度・低彩度の色を用いることで、背景となる空と、より調和した印象とすることが期待できます。また、中高層階の共用部について、部会において提示されたイメージでは、見る人に構造的な不安定さや緊張感をあたえるものとなるおそれがあります。これらのことを踏まえ、街区全体のデザインの調整を図る中で、共同住宅棟の色彩等についても、検討を行ってください。	共同住宅について、中高層階のバルコニーには主に青色のガラスを用い、壁面については高明度、低彩度の色を用いることで、空との調和に配慮しています。 中高層階の共用部の色彩について再検討し、暖色系の色を用いて不安定さや緊張感を与えないようにします。
3	A街区とI街区をつなぐ道路横断橋については、I街区内の建築物等と一体となって景観を形成するものであることから、受け止め側の施設（商業施設）と、より一体的なデザインとできないか、検討してください。	道路横断橋と商業施設のファサードを一体的にデザイン検討して、厚別青葉通りからの景観に配慮します。どちらとも開口部のガラス面をできるだけ大きくして、道路横断橋から商業施設へと歩く人の流れが外部から見えるようにします。また空中歩廊の内装に木製ルーバーを用いることで歩行者動線の連続性をつくり、駅から各建物へわかりやすく誘導します。
4	各メディカル棟の敷地の東側には住宅等が立地していることを踏まえ、これらの住宅等の住環境にも配慮して、各メディカル棟の付帯設備の配置等を検討してください。	各メディカル棟の敷地の東側には、植栽帯を設けて駐車場や附属建物等に対する住宅からの見え方に配慮します。付帯設備の配置等についても住環境を配慮して検討します。
<b>2 新設道路について</b>		
1	新設道路が、人に開放されているような印象のものになることで、まちのイメージも良いものになると考えられます。新設道路が少しでも良好な	新設道路歩道部分のインターロッキング舗装と、各建物敷地の通路舗装を一体的に検討して、連続感と広がりのある外構デ

	<p>景観の形成に寄与するものとなるよう、引き続き、関係者と協議されることを期待します。(部会においては「路側と歩道と同じ色にする」、「車道の幅を狭くする」、「縁石を全面低下にする」などにより、当該道路を利用する自動車の走行速度を下げる事が期待できるなどの発言がありました。)</p>	<p>ザインとします。</p> <p>道路構造については構想段階のアドバイスをふまえて道路管理者と協議を行い、設計速度を 30 キロとして歩道をインターロッキングにすることで、安全と景観に配慮した道路としました。すでに道路設計は終了し、仕上げ舗装以外の工事は 12 月で完了予定ですが、その条件下でできることがあるか道路管理者と協議します。</p>
<b>3 アクティブリンクについて</b>		
1	<p>アクティブリンクの底部については、新設道路を歩く人からよく見える部分となるため、景観的に更なる配慮ができないか、検討してください。</p>	<p>アクティブリンクは構造をできるだけシンプルに見せてシンボル性を高めることをデザインコンセプトとしています。できるだけシンプルなデザインとなるように今後ディテールを検討していきます。</p>
2	<p>アクティブリンクを不快感なく利用できるものとするため、アクティブリンク内の温熱環境が少しでも良いものとなるよう、検討してください。</p>	<p>アクティブリンクは空調設備は備えませんが、温熱環境のシミュレーションを行い、開口部による通風の確保やガラスからの日射抑制などの対策による温熱環境の改善の検討を行います。</p>
3	<p>交通の安全確保との兼ね合いのなかで今後の調整になると思われませんが、アクティブリンクの照明の仕立てに留意し、灯り方からも魅力を感じられるよう、検討してください。</p>	<p>アクティブリンクが夜間もシンボルとなるように今後照明計画を検討します。</p>
<b>4 ランドスケープについて</b>		
1	<p>生態系に配慮したみどりのネットワークをつくっていくためには、多様で立体的なみどりづくりが重要であることから、高木と芝生だけでなく、中低木や、草本類、草花などについても取り入れた植栽計画とすることができないか、検討してください。また、植栽計画にあたっては、まちを訪れる方の動線にも留意してください。</p>	<p>地域の生態系や植生に配慮して、中低木や草本を取り入れた立体的で多様な植栽計画となるように検討します。また、まちの入口となる広場にはシンボルツリーや花壇を配置して、まちの玄関口を演出します。</p>
2	<p>生態系への配慮についての案内表示を設けるなど、子どもをはじめとする地域住民等が地域の生態系等について学ぶことができるような取組についても検討、実施されることを期待します。</p>	<p>広場の案内サインやエリアマネジメント活動等で、地域の生態系について学ぶことができるように情報発信します。</p>
<b>5 その他</b>		
1	<p>まちの名前やそのアピールの仕方によっても、まちの印象は大きく変わります。まちの名前やロゴマークなどをどのように標示し、アピールしていくのかについても、検討してください。</p>	<p>まちの名前やロゴマークについて、まち開きに向けて今後検討していきます。</p>